



注射マニュアル

内服・注射事故対策検討チーム
安全管理室

① 注射準備時

注射指示書にて

- ・患者氏名・薬品名・単位
- ・指示量・注射方法・本数
- ・日付の確認

*** ダブルチェック・指さし呼称**



② 注射実施直前

施行前に施行者が

- ・患者名・薬品名・単位
- ・指示量・注射方法・本数
- ・日付の確認

*** ダブルチェック・指さし呼称**

*同室で2名以上の注射を行う場合は1人ずつ1人1人にて持参する

*準備中他の業務が重なった場合
オーバーテーブルの上などに注射を置かない

他の看護師が間違っ刺す可能性がある為
特に緊急指示を受けた場合、準備と実施は同一看護師が行うようにしましょう

③ 注射実施時

本人であることを確認し実施

二人で確認できない場合は
患者の姓名を指さし声出し確認
リストバンド・ベッドネームでも確認する

*** ダブルチェック・指さし呼称**

〈確認項目〉

- 点滴速度
- リストバンド確認
- ルートの確認
- ベッドネーム確認
- 接続部の確認
- 点滴ボトル確認
- スタンドの高さ
- 三方活栓の向き

同姓同名に注意!!

名前が言える患者様には
フルネームで名乗っていただく

④ 注射施行時

- ・気分不快・発赤・腫脹などの観察・確認

⑤ 指示書へのサイン

実施者が行う

⑥ 記録 診療録・フローチャートへの記録を行う

*薬品管理については、別紙参照

血液浄化療法におけるラインは必ずロック付とする

動/静脈アクセス部・抗凝固薬注入ライン・圧力モニターライン・浄化器の血液側接続部は
全てロック可能な接続とすること

*微量注入器を使用し薬剤投与する場合は、

ロック付のシリンジを必ず使用すること*

